益田さいえんすたうん２０１９
高校生科学チャレンジ『ピッタリ止めよう』結果発表

７月６日（土）高校生科学チャレンジへの出場校とチーム数は、以下のとおりでした。遠方からの参戦ありがとうございました。

上位５チームの結果発表！

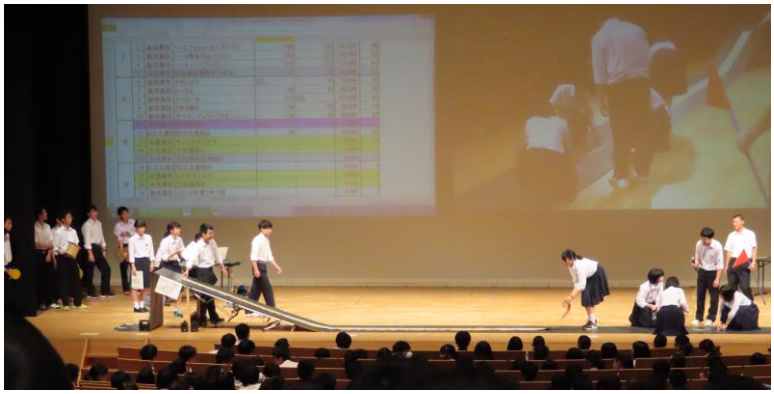
	高校	チーム名	１回目(cm)	２回目(cm)	決勝戦(cm)
１位	**松江北高校**	**松江北高校Ｃチーム**	20	0	**19**
２位	**大田高校**	**大田高校Ａチーム**	0	35	**82**
３位	**大田高校**	**大田高校Ｃチーム**	65	0	**106**
４位	松江北高校	松江北高校Ｄチーム	10	32	－
５位	出雲高校	レトロウィルス	21	11	－

益田高校からは、３年４組Ａチームが４０ｃｍで７位と健闘しました。

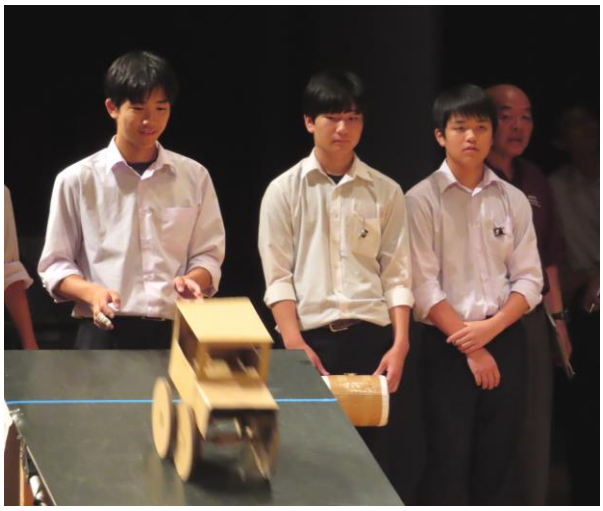
参加校：８校　　チーム数：４６チーム

学校名	チーム名	学校名	チーム名
矢上高校	矢上高校	江津高校	江津高校
安来高校	安来高校Ａ，Ｂ	大田高校	大田高校Ａ，Ｂ，Ｃ
松江北高校	松江北高校Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ	浜田高校	理数科１年生，理数科２年生，定時制Ａ，定時制Ｂ
出雲高校	セントラルドグマ， レトロウィルス， アンチコドン，コドン	益田高校	全校１４クラスから２６チーム（チーム名称略）， 自然科学部

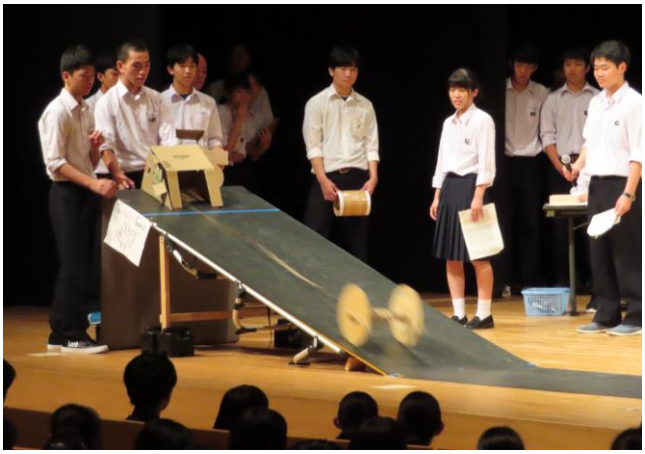
全体の様子



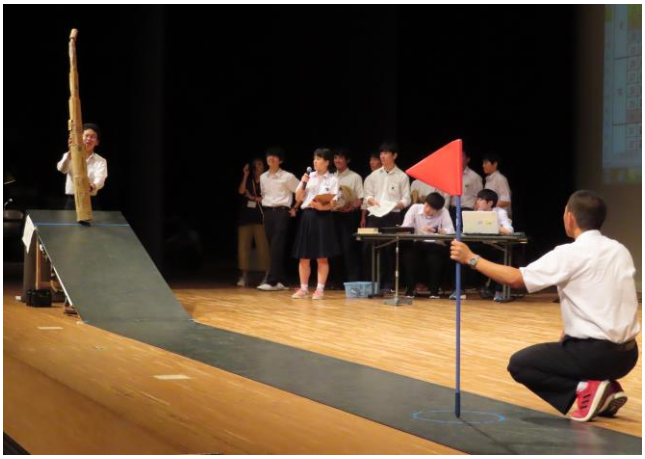
作品の形状も様々



転がすタイプ　　車型



６ｍぴったりの距離に合わせたもの



これは･･･子機が発射されたようです！

優勝した松江北高校Ｃチームは、前輪軸に巻いた帯が、後輪軸に巻き取られていく仕組みでした。

息をのんで見守る瞬間。

良い記録が出ると会場全体から歓声が上がりました。

司会・進行の２年理数科の働きぶりが好評でした。

益田高校生徒・教員の感想

３年生「上位入賞を逃したことがとても悔しい。作戦を実行に移す時間がもう少し確保できていれば･･･！来年はぜひ入賞を狙って欲しい。」

２年生「今年初めての内容で、考えることがとても楽しかった。第一に作戦、そして第二に工夫が必要だと感じた。他校の皆さんは、手を放す前に２人組で角度を確認したり、作品の形にも工夫があったりして、とても刺激になった。」

教員「最初に動き出す時には“ひらめき”や“センス”が必要ですが、本当に正確な結果を出そうとするなら、“緻密な計算”と“作戦”が必要だということが、よく解かりました。」

競技内容を変更した初年度ということもあり、色々とお気づきの点もあるかと思います。
ご意見をお待ちしています。